

3 審査について

(1) 審査員 (50音順)

島 敦彦 (しま・あつひこ)

1956年生まれ。金沢21世紀美術館館長。富山県立近代美術館に約12年間、1992年より国立国際美術館に23年間勤務。2015年より愛知県美術館館長。2017年4月より現職。主な担当展覧会として、「彫刻の遠心力—この十年の展開」(1992年)、「榎倉康二」(1994年)、「内藤礼 みごとに晴れて訪れるを待て」(1995年)、「瀧口修造とその周辺」(1998年)、「安斎重男の眼1970-1999」(2000年)、「小林孝亘」(2000年)、「0 JUN」(2002年)、「畠山直哉写真展」(2002年)、「オノデラユキ写真展」(2005年)、「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」(2010年)、「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」(2013-14年)(以上すべて国立国際美術館)など。近年は舞台やダンス・パフォーマンスにも視野を広げている。山口県美展の審査は3回目。

椿 昇 (つばき・のぼる)

1953年生まれ。現代美術作家。京都造形芸術大学教授。森美術館理事。1989年、戦後世代の日本の美術作家を紹介する歴史的な展覧会「アゲインスト・ネチャー」に《フレッシュ・ガソリン》を発表。1993年、ベネチア・ビエンナーレに出品。2001年、横浜トリエンナーレに巨大なバッタのバルーン《インセクト・ワールド飛蝗(ひこう)》を発表。2003年、水戸芸術館において9.11以後の世界をテーマに個展「国連少年」を開催。2009年、京都国立近代美術館で個展「椿昇2004-2009: GOLD/WHITE/BLACK」を、2012年、霧島アートの森(鹿児島)で個展「椿昇展“PREHISTORIC_PH”」を開催。2013年、瀬戸内国際芸術祭で「醬の郷+坂手港プロジェクト」ディレクター。2016年、瀬戸内国際芸術祭で「小豆島町未来プロジェクト」ディレクター。山口県美展の審査は初めて。

三瀨末雄 (みづま・すえお)

ギャラリスト。キュレーター。ミヅマアートギャラリーエグゼクティブディレクター。1980年代からギャラリー活動を開始し、1994年にミヅマアートギャラリーを青山に開廊(現在は新宿区市谷田町)。スタイルにとらわれない、独自の感性を持った日本およびアジアの作家を国際的なアートシーンに紹介し、会田誠、池田学、0 JUN、ジュン・グエン=ハツシバ、宮永愛子、山口晃など、個性的な作家を多数輩出している。2008年、北京にMizuma & One Galleryを開廊。2012年、シンガポールにMizuma Galleryを開廊。2010年、TOKYO DESIGNERS WEEKに際して開催された「JALAPAGOS展」をキュレーション。2011年から2013年にかけて東京、大阪、京都、新潟、高崎、八戸、秋田にて開催された「ZIPANGU展」をキュレーション。2014年に幻冬舎より『アートにとって価値とは何か』を、2015年に求龍堂より『MIZUMA 手の国の鬼才たち』を出版。山口県美展の審査は初めて。

(2) 審査方法

審査はジャンルを分けることなく、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

- ①一次審査: 入選候補作品を選定
- ②二次審査: 入選作品を選定
- ③三次審査: 入賞作品を選定

(3) 賞

- | | |
|-----|---|
| 大賞 | 1名(賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円) |
| 優秀賞 | 5名(賞状・賞金5万円) |
| 佳作賞 | (賞状) |

4 出品について

以下の出品の条件を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。

*作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における事故および不慮の災害等による作品の破損、亡失等については責任を負いかねますことを、ご了承ください。

(1) 出品の条件

- ①作品は自己の創作したものであること。
- ②作品は審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- ③作品は著作権、肖像権など、他人の権利を侵害しないものであること。
- ④作品は通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。
(危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼすものは不可)
- ⑤作品には本要項添付の出品票を、裏面右上または事務局が確認できる場所に貼りつけて出品すること。
- ⑥作品の搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。
- ⑦出品者の責任により美術館の施設に損傷を与えた場合は、原状復帰のための費用をご負担頂く場合があります。

(2) 出品の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

- ・《Aタイプ》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品
(絵画、写真など、主に壁に掛けて展示する作品)
→【繰出審査】審査員が着席し、その前に作品を繰出して審査します。
- ・《Bタイプ》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品
(陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等)
→【据置審査】審査員が移動し、据置された作品を審査します。

(3) 事前協議

搬入作業および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合には、事務局と事前の協議が必要です。

- ①《Bタイプ》に該当すると想定されるもののうち
 - ・一辺が3mを越える寸法のもの
 - ・重量が200kg以上のももの
 - ・極端にもろい材質のもの
 - ・作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション

②映像作品等(特に機器、電源等について)

*協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを、あらかじめ用意します。
(事前協議を先に行った出品者を優先します)

上記に該当する場合には、以下の事前協議受付期間内に山口県立美術館までお越しく下さい。

- ①日 時：平成29年8月5日(土)～8月20日(日) 9:00～12:00 13:00～16:30
- ②受付場所：山口県立美術館 総合受付(休館日は通用口にお越しく下さい)
- ③必要なもの：展示プラン(素材、大きさ、展示イメージ図を明記)

(4) 出品料

1点につき3000円を出品目録に添えて、搬入日当日に納入してください。
組作品は1組につき1点とみなします。受付後の出品料の返却には応じられません。

(5) 作品の搬入

- ①日 時：平成29年9月1日(金)～9月3日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館 搬入口(山口市役所側の通用門から入り、建物の裏にまわってください)

(6) 作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

- ①日 時：平成29年10月6日(金)～10月8日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館 搬入口

(7) 搬出入の費用

出品者の負担とします。返送をご希望の場合、荷造りおよび輸送経費は着払いとします。

5 審査の公開について

(1) 審査の傍聴

審査会は公開します。また審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。

①日 時：平成29年9月5日(火) 9:30～17:00
9月6日(水) 9:30～12:00

②会 場：山口県立美術館

③申込方法：山口県立美術館ウェブサイト (<http://www.yma-web.jp>) の申し込みフォーム、はがき、FAXのいずれかでお申し込みください。出品者以外も、傍聴可能です。

記入事項：傍聴希望日・住所・氏名・電話番号

申込期間：7月1日(土)～9月3日(日)必着

④申し込み・お問い合わせ：〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館 県美展事務局
TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790

※ご記入いただいた個人情報、第71回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

(2) 審査発表

展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ウェブサイト、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。

なお、出品者には、審査後1週間程度で、郵送にて、審査結果を通知いたします。

6 特別展示

前回の大賞受賞者、保手濱 拓氏による
新作を展示します。

第70回山口県美術展覧会 大賞受賞作品
保手濱 拓 「memento (グンバイナズナ)」



7 ワークショップ「自作を語る」

第71回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、展示作品について語っていただきます。

詳細・実施日時は、展覧会開始後に、山口県立美術館ウェブサイトおよび会場入口の掲示でお知らせします。

8 「HEART (美術館まちなか交流事業)」との連携

山口県美術展覧会の歴代優秀賞以上受賞者の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。

9 主催

山口県

10 第71回山口県美術展覧会運営委員 (50音順)

岡本 正康	下関市立美術館 主査
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部 准教授
白田 豊	画廊主宰
中野 良寿	美術家、山口大学教育学部 教授、N3アトラボ代表
原井 輝明	画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
松村 靖	山口県 観光スポーツ文化部 文化振興課長
山本 綾香	防府市地域交流センター アスピラート 事業係
若林 英樹	山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

11 事務局

山口県美術展覧会実施協議会

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館内 TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790

<http://www.yma-web.jp>

郵便でお問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封してください。

第71回山口県美術展覧会出品目録

ふりがな 氏名 (本名)	住所 (連絡先)	(〒 - -)
生年月日 (西暦) 年 月 日 (才)	tel:	

公表用氏名	<input type="checkbox"/> 本名と同じ	よみかた
	<input type="checkbox"/> 本名と異なる	

※新聞・パンフレット等に公表される際には、右欄に記入されたとおりに記載されます。

記号	番号	題名	備考 (素材・技法など)
※	※	よみかた	
A	B		

- ・本目録は作品搬入受付時に、出品料を添え、1作品につき1枚提出してください。複数点出品する方は本目録をコピーしてお使いください。
- ・ペンカポールペンを使い、楷書で、太枠の中のみ記入してください。※は記入しないでください。
- ・住所は出品者本人の住所を記入してください。
- ・ご記入いただいた個人情報山口県美術展覧会に関する業務以外には使用しません。

受付日	9/1 ・ 9/2 ・ 9/3
-----	-----------------

返却方法	いづれかを○で囲んでください ・会場受領 ・事務局手配による輸送 (料金着払) ・自分で手配された画材店等による搬出 (業者名:)
------	---

→ 出品票は、太枠内に記入し、作品にはがれないように貼ってください。
 (平面作品は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部)

出品票	※	A	B	※
	題名			
	氏名			
	住所			

作品預り証	
_____様	
平成29年9月 日 山口県美術展覧会実施協議会	
※取扱 _____	
※ A B	
<ul style="list-style-type: none"> ・作品搬出日時は10月6日～8日の9:00～12:00 13:00～16:00です。 ・必ずこの作品預り証をご持参ください。 ・搬出日以降も受け取りに来られない作品については、出品者に断りなく処分させていただくこともあります。 	